

消防出初式

1月11日(月)、権現山運動公園屋内運動場において、立科町消防出初式が厳かに挙行されました。

式では、無火災章や長年消防業務に従事した団員、功労者、退団者への表彰が行われ、その後消防団員・幼年消防隊・川西消防署員総勢266名と消防車両による分列行進が行われました。

立科町消防団は、本年も住民の生命・身体・財産を守ることを使命として活動します。



たてしな保育園幼年消防隊結成！

11月27日(金)、たてしな保育園の年長園児が隊員となる幼年消防隊が結成されました。

これは、正しい火の取扱い方などを学び、消防や防災の各行事に参加することで幼年期から防災意識を高めることを目的に発足したものです。

式では、大島団長から纏を交付されるとともに隊員全員で「絶対に火遊びはしません」等の「防火の誓い」が元気に斉唱されました。



新しい風(町長コラム) ④

米村匡人

友好都市愛川町で開催された「愛川町一周駅伝競走大会」に立科町から駅伝チームが参加し、応援に行ってみようとした。

襷をつないだ選手7人のチーム力と関係者の支えにより、「優勝」に結びついたことに大変感動いたしました。

また、立科町消防出初式では、整然と規律、統率のとれた各分団皆様の勇姿に地域の伝統が着実に受け継がれている事に感動を覚えました。日頃より団員皆様には、住民の安全・安心・財産を守るために、日夜努めて頂き感謝いたします。

そして、今年も、たてしな保育園幼年消防隊も消防団員と共に行進をし、微笑ましいながらも、将来、消防団で活躍する姿を思い浮かべ、頼もしく感じました。町民の皆様が幸せを感じる事が出来る町づくりに、全員がチーム一丸となって取り組んで行く事の重要性を改めて感じる事が出来ました。

昨年、ラグビーワールドカップでの日本代表チームが、数々の苦境に立ち向かい、なした好成績は、One for All, All for One(一人は皆のために、皆は一人のために)のラグビー精神によるものだと思います。

私達も、大きな課題に立ち向かい成果を上げて行く「チーム立科」でありたいと思います。